

2025 年 10 月 16 日

各 位

会 社 名 タ マ ホ ー ム 株 式 会 社
住 所 東 京 都 港 区 高 輪 三 丁 目 2 2 番 9 号
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 玉 木 伸 弥
(コード番号：1419)
問 合 わ せ 先 取 締 役 戦 略 本 部 長 兼 経 理 部 長 西 堀 祐 介
TEL. 03-6408-1200

2026 年 5 月 期 第 1 四 半 期 決 算 説 明 会 (テ レ フ ォ ン カ ン フ ェ レ ン ス) に 関 す る
質 疑 応 答 概 要 の 公 開 に つ い て

日頃より、ご支援賜りまして誠にありがとうございます。

当社は本日、2026 年 5 月 期 第 1 四 半 期 決 算 説 明 会 を テ レ フ ォ ン カ ン フ ェ レ ン ス 形 式 に よ り 開 催 い た し
ました。

ご出席いただきました皆様から同決算に関するご質問を賜り、ご回答を行っております。

以下、質疑応答概要につきましてお知らせいたします。

【質疑応答概要】

Q1.

営業赤字が拡大しているものの、会社計画は上回ったというご説明がありましたが、なにをもって上振れと見ればいいのでしょうか。

また、第 1 四半期の数値の見方について、どのように考えればいいのでしょうか。

A1.

業績予想に関して四半期ごとの計画は公表しておりませんが、第 1 四半期の実績は上振れて進捗しております。

また、2025 年 5 月 期 第 1 四 半 期 と 比 較 し、注 文 住 宅 事 業 の 引 渡 棟 数 減 少 に よ り 売 上 高 が 減 少 し ま し た
が、2025 年 5 月 期 第 4 四 半 期 の 偏 重 に 伴 う も の で あ り、想 定 内 の 結 果 で ご ざ い ま す。

引き続き、通期業績予想の達成に向けて、努めてまいります。

Q2.

注文住宅の受注について、前年同月比で減少が続いておりますが、今後の挽回策や見通しについて教えてください。

また、営業人員の採用面や貢献度についても教えてください。

A2.

営業人員の採用については、順調に増加しております。

当社における受注方法について、しっかりと教育を行い、受注の底上げを図ってまいります。

また、お客様のニーズに合った商品を提案することで受注促進を図ってまいります。

Q3.

会社計画から上振れたとのことですが、どの分野がどのように上振れているのか、事業別の状況について教えてください。

A3.

具体的な数値についてはご回答を差し控えさせていただきますが、注文住宅、戸建分譲、不動産ともに当初計画よりも上振れて着地しており、第1四半期は全体的に好調に推移しております。

特に、不動産事業のオフィス区分所有権販売の物件を販売したことが大きく上振れした要因の一つとなっております。

Q4.

受注単価に関して、今後どのように推移する見通しでしょうか。

A4.

木材価格は横ばいであるものの、一般商材および労務単価は上昇傾向にあり、これらを踏まえて販売価格の設定をしております。お客様の住宅に対するご要望も高まっており、当初受注から引渡までの間に、追加でオプション等のご契約をいただいていることから、最終的な売上単価は上昇傾向にあると認識しております。

また、引き続き営業人員の採用を行うことで、注文住宅事業全体の底上げを図ってまいります。

以 上